



# 大入、芦高寄席

## 落語研究部

### 練習の成果を發揮

文化部公演での落語研究部の公演は今年で大喜利も入った二年目だ。出し物は、まず初めに次亭小ばん(二丁E、村居逸)の古典落語「子ばね」、続いて次亭半枝(二丁E、安田隆彦)の「テレビ葬式」だった。どちらも、リラックした感じで会場を沸かせていた。古典落語の「子ばね」と新ネタの「テレビ葬式」という組み合わせもよかったようだ。前者の方は落着いた感じで聞け、後者は最近起こっている新しい話題をネタにして楽しく聞けた。

最後は大喜利であった。今年是一年対二年でそれぞれ男子三人、女子一人の四ナリーという映画音楽で、ギター研究部は文化部公演で、三曲披露した。演奏の、明るい曲だった。二曲前にインテンシビティをみ、目にはエレキとフォークで、と、「去年について二度目CMでお馴染みの、カガリなのであつてない」「目信はある」「最後の曲、ス」を聞かせてくれた。そして、「カイ、ハイ、でみんなが、最後の三曲目、エレキサウ、つてくれたら」というのが、一曲目は「エンターテイ、ナリー」という映画音楽で、

# 趣向さまざまに

## 文化部展示

記念祭最終日の二十八日に催された文化部展示では、各文化部共、一年間手掛けてきた事を、さまざまな趣向で披露し、十分楽しませてもらった。

展示は、午前九時半から午後三時までの一般公開であつて、参観者も多く、いつもより活気が見られた。各文化部の展示の様子を順に紹介すると、まず、自然部は、部員の紹介、自然(生物・風など)・定期観戦(動物・風景など)の写真を、去年も好評であった「顔」のテーマで多くの「顔」を展示していた。化学研究部は、物理研究部、生物研究部、地質研究部、生物研究部、それぞれ詳しく調べ上げた研究や観察記録の発表、また、実物やスライド、実験装置などの目を引くものも多く展示していた。文芸部は、

文芸部の展示、将棋部は、将棋大会や、初級者、中級者に分けられた将棋の指し方のパンフレットの配付。鉄道研究部は、「Nゲージ鉄道模型の大レイアウト運動会」を行ない、父子連れ、親子連れ、兄弟連れなどの参観者に人気があつた。書道部は、書道史や毛筆、硬筆作品の展示。被服研究部は、作品数の少ないうえに、少くも感じられた。美術部は、共同作品や個人の絵画を展示していた。作品数も多く、ため息をつくような作品も見られた。映画研究部は、自作の映画を、本上映した。ポスターの展示や、くじ引き、「アス」の朗読発表などを行なった。アマチュア無線部は、公開文信、テレビ、コンピュータを数多く用い、例年より盛り上がりを見せていた。また、歴史部は、名所の写真などを展示した。落語研究部は、ホールで披露した。茶道部の行った「お茶会」は、十人ぶりの女子漫才や南京玉簾などの色物が目を引いた。



写真は琴を教える邦楽部員

## ギター研

第一日目の最初の公演は放送劇。キャストは、二年生ばかりで構成されており、昨年と同じく農村が舞台だったが、それが役に成りきって、六月中旬から練習しただけあり、すごい迫力だった。

内容は、水を流してくれ、村の人々の間の話である。やはり、一声一力に力がこもっていた。

## 放送劇

もっており、さすがが声も資本という感じ。背景も内容としてよく合っていたが、去年よりは、やや落ちたという感じがした。しかし、最後は横が切り倒される時、舞台がライトで真っ赤に染まったのが印象的。観客は時々いらいらしたように見えた。観客の中には、内容が薄いという声もあったが、全体的によくまとまっていた。

出来は、一回目が八十点程度、二回目が欠点ギリギリだったが、二回目は三つもの物の働きや、それを盗んでいせものとすり替えた、宿屋の主人の結末などミスもなく演じた。この文化部公演に向けての日頃の練習の成果が十二分に発揮できた。

## 英語劇

ESSSによる英語劇ではグリム童話の「The Little Red Riding Hood」が演じられた。これは、「北風くればたてテールクロウ」観客は時々いらいらしたように見えた。観客の中には、内容が薄いという声もあったが、全体的によくまとまっていた。

# 例年よりおとなしく

## クラス展示

第三十二回記念祭の四日、自治会主催の自治会展示、学校主催の自主会展示、定例の図書館での写真展など開かれた。映画は人気も開かれた。映画は「パ」が、「内容」は、「お化け屋敷」など。その他の自慢やバラ

# DARK HORSE

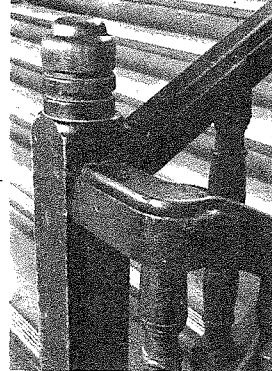
記念祭の裏の立役者、それが各専門実行委員長ならびに実行委員である。今年、特に執行部の不手際が目立っていたためか、一層重要であったように思える。

では、主な専門実行委員長を紹介しよう。まずは「出版・印刷」これは書記長の下で主として、パンフレット・ポスターの製作、そ

# NO 2 記念祭の立役者

「準備」これは大きな行事に欠かす事のできない役割であり、その果たす使命は大きな。連日のあらゆる行事開催中に巡回を行う治会員のためのものだ。

「警備」これは大きな行事に欠かす事のできない役割であり、その果たす使命は大きな。連日のあらゆる行事開催中に巡回を行う治会員のためのものだ。



観客の反応はいまひとつだった。全体的にみると、舞台と観客とが一体にならなかったという難があったが、この問題を克服するためにも、また練習が続けられている。そして、きつと来年には、素晴らしい舞台を見せてくれるであろう。

第32回 記念祭日程

九月二十四日

- 開幕式
- 一、開会宣言
- 二、ファンファーレ
- 三、記念祭歌
- 四、学校長あいさつ
- 五、自治会長あいさつ
- 六、校歌 (校旗掲揚)

九月二十五日

- 文化部公演 PART I
- 文化部公演 PART II

九月二十六日

- 体育祭
- クラス展示
- 九月二十七日
- 文化部展示
- 九月二十八日
- 閉幕式

一、フォークダンス

二、自治会長あつさ

三、学校長あいさつ

四、アトラクション

五、ファイヤーストーム点火

六、記念祭歌

七、校歌

八、閉会宣言

# 雨にも負けず

当日、どんよりした曇り空ではあったが、かわてからの子通り、午前八時五十分から開会式が行なわれた。

学校長の挨拶では、入場行進の悪さを指摘されていた。

演技に入ってから、各々のクラスが独自のユニフォームを着用して、大変バラエティーに翫んだ華やかな応援を繰り広げていた。午後、部に入ってから天候は序々に悪化し、プログラム十九番の「もてあまし」あたりから雨が降り始め、閉会式では本降りになって賞状の授与は、総合優勝の二年下組が代表で受け取った。他は、後の十月十三日学校集會に於いて発表されたことになり、今年もまた

## 体育祭

- 二年B組 鳩員 健
- (自治会長橋) 三年J組 沖中 紀子
- (市教育委員会橋)
- (学校長杯) 二年E組 川上 寛之
- (実行委員会橋) 二年I組 黒田 郁子
- (育友会長杯) 男子 野球部 女子 陸上部
- 二年G組 中村 和人



写真は運動部行進

# 記念祭のフィナーレ!

## 閉幕祭

二十八日、三時半からのフォークダンスで閉幕祭が始まった。初めは、みんな尻込みしていたフォークダンスだったが、終わる頃には、五百人程度の人が参加していた。その後、自治会長と、学校長の挨拶があり、バックネット前で吹奏楽部によるアトラクションが行なわれた。演奏者を囲み、どこからともなくわき起こった拍手で盛り上がった。引き続き、今度は、集會台の前でギター研究部の演奏が行なわれた。こちらは、エレキギターも入り、かなりの迫力。飛び入りでは、三・C・Dがクラス展示で行なった、のど自慢大会の優勝した、

「いつまでも忘れるな...」をみんなで大合唱して第三十二回記念祭は幕を閉じた。

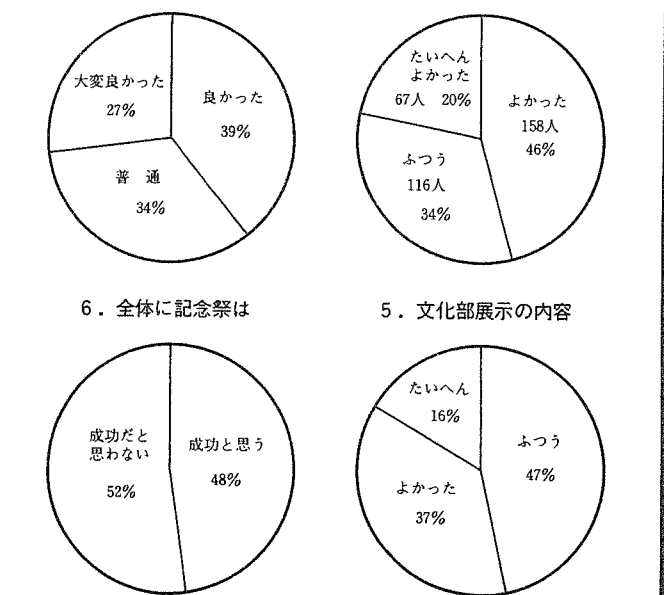
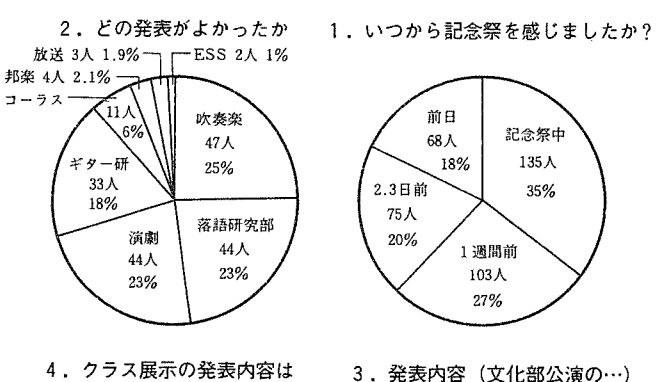
君よ 君はなぜ 僕の前に姿を現したのだ 君は どうして その愛らしい微笑を ほころばすのだ そのたびに 僕の心は乱れ 重くなる 梅雨時の空のように 暗くなる 君よ 君はなぜ 僕の前に姿を現したのだ

# またまた問われる記念祭

去る九月二十四日より、二十九日までの五日間に渡り行なわれた、記念祭を振り返りかえつてアンケート調査の結果、以下のようになった。「いつから記念祭を感ぜましたか」という問いに対して、「一週間前」二・三日前」など寸前になってからという人や、「記念祭中」という人が圧倒的であった。また、文化部公演を観た感想は、「各部の練習の甲斐あってよかった」という意見が多く、特に「吹奏楽部・落語研究部・演劇部・ギター研究部が良かった」という声が多かった。

「クラス展示を観に行きましたか」という問いに対しては、「観に行つた」という人がほとんどで、「発表内容がたいへんよかった」という声も多々。クラス展示を行なったクラスは一律「たいへんよかった」という欄に集中して記入されてお

「無気力な高校生、世に言う感ぜてあり、何となく人任せにしてしまっている嫌があるようだ。この行事に積極的に参加し協力した人は、記念祭を振り返って「充実していた」と感じ、「充実してない」と感じ、「開閉が必要である」、「開閉幕祭のやり方に不満を抱いている」、「観客席の問題は大変」、「ファイヤーストーム、フォークダンスの時間が短い」と、どれもこれも厳しい意見である。さらに「ファイヤーストームとフォークダンスを一緒にしてはどうか」という意見も出されていた。



**受験勉強は親切な学研版で**

使いやすい人気学参 **ノウハウな高校生総合誌**

- 学力と知性をたかめる **高1コース** 毎月14日 書店発売
- 学力を伸ばし進路を決める **高2コース** 毎月14日 書店発売
- 新課程入試突破めざす **高3コース** 毎月14日 書店発売
- 正確な情報で志望校が選べる **高3コース** 毎月14日 書店発売
- 春・夏・秋・冬 臨時増刊
- 授業に役だつ学年別カラー学参 **高校ベストコース** 大好評 発売中
- 信頼できる大学受験用新書判 **コースBOOS** 大好評 発売中
- ココがねらわれる/英単語・英熟語・英文法和文英訳
- 古文単語・入試漢字・世界史年号・事件・日本史・教I
- II B・暗記数学・化学反応式・物理解法
- 受験情報PACKなどの大学がはりやすいか医歯
- 学部受験術・早慶受験術・この学部学科をねらえ
- 入試突破新学習法/プラン受験術・やる気楽勉術・入試英語こわくない・入試数学こわくない

学習研究社販売局 03(720)1111 東京都 142930

# 芦高の和は一つ

夏休みも終わりの8月25、27、28日の3日に渡って「芦高創立40周年記念公演」が、ルナホールに於て行なわれた。

ごく一部ではあるが、各方面で活躍されておられる芦高卒業生の方々に目にかかれたことは、大変素晴らしいことだったと言えよう。

**オープニング**

四十周年記念行事のオープニングは、予定より十五分程早く、NHK・合唱歌コンクール・兵庫県大会に於いて優秀賞に輝いた芦高コーラス部による校歌「自由の歌の合唱で幕開けとなった。ついで現在までの芦高の歴史、又この会がもたれるまでの自治会の活躍などに対する挨拶が馬場校長から述べられた。その後、再び合唱部による自治会歌、司会者による祝電の披露、そして、合唱部指揮者、村治学(二一A)とボイスフィールド合唱団指揮者、西牧潤(二七回生)の握手、合唱部と入れ替わりボイスフィールド合唱団(ボイスフィールド合唱団は一九七七年七月に、原立芦屋高校コーラス部OB合唱団)として設立、一九七八年一月に「合唱団ボイスフィールド」として「イスフィールド」として

**フルート**

午後六時半からは、百人を起す観客を集めて「フルート・リコーダーの夕べ」が始まった。「リコーダー」は管を閉めて吹くのですが、フルートは「唇を柔らかくしてはげない」ということで、まず、前半は大鼓やギターとの協演で、リコーダーの演奏が行なわれたが、それは七部族音楽を連想させるような、明るい民族調の音色を残っていて、いろんな活動

**コンサート**

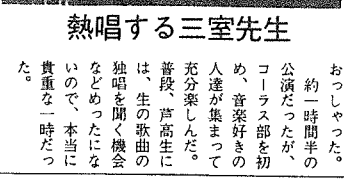
山夫人を含めたオリジナルメンバーの演奏も披露された。リコーダーの部は終了を盛り上がりを見せました。後半は、約束通りフルートが演奏され、パロッド調の落ちついた調べが流れた。「二曲」ことにはさまれる北山氏のユーモラスな語り口もまた、場内を多にわかせた。芦高同窓生ということもあって、和気あいあいなとした雰囲気漂わせていた。

**独唱会**

午後六時半、中日の最終の催しである。三室先生がの独唱会が行なわれた。この会は三部構成になっており、第一部はイタリア古典歌曲、第二部は「まらばう」

**熱唱する三室先生**

約一時間半の公演だったが、コーラス部を始め、音楽好きの人達が集まって充分楽しんだ。普段、芦高生には、生の歌曲の独唱を聞く機会などないので、本当に貴重な一時だった。



熱唱する三室先生

## 音楽の場での活躍

山夫人を含めたオリジナルメンバーの演奏も披露された。リコーダーの部は終了を盛り上がりを見せました。

午後六時半、中日の最終の催しである。三室先生がの独唱会が行なわれた。

約一時間半の公演だったが、コーラス部を始め、音楽好きの人達が集まって充分楽しんだ。

## 校歌と母校愛

〇一本校教諭 中川 義昭 〇

「昭和二十一年八月一日、新設中学、仮校舎一度焼け、三箇所居候する芦中生が、饑寒多し、自然屋中学校校歌を芦高から歌った感激は、誠に名状し難いものがあった。被災後の幾重にも連続する苦難。校舎もなく、まして運動場を持たぬ虚けられた芦中生は現実の苦難が大きいだけに複雑なものがあった。芦中生の母校愛、それは日常の学校生活に芽生えるものであるが分散教授の悲哀を具さなめていた芦中生が、この一つ心に結ばれたことに胎動し、これは本校の歴史の一節、往時の全校の心を伝えて余す所がない。元来、校舎も校歌も無い

古典・社会・音楽三先生合作。学園文芸復興と平和日作。本建設を謳う歌謡は、肥え桶のにおい抜けぬ中学生の頭には高踏的で難かしかつたが、歌い続けて忍び、踏踏もあろう。それに敢て踏み勇気が母校愛である。

同年、ある不祥事で母校の誉れが取沙汰されるや、一方は一流の中学生に惜しみなく負けぬと母校愛をたたき込んだ。芦中生がいじらしい程の愛校精神に燃え、奮い立った者も少くはない。亡き修三君は初志を遂げ、「ボロ」学校中が勝つて、「ボロ」学校中が勝つて、相手校応援団に追いまわされた上田先生は、今も常に不動の姿勢で、胸をうたがわず、母校愛は創業の神話ではない。今も、改革工事で難たる校地に裸体操エッサの大奇声をきくと、三つ子の魂百まで芦中・芦高四十年、相変わらず燃えやすい純な心意気をこれこれと云う。

三時からテレビ番組「テレビ番組うらばなし」の講演が行われた。土居原氏は、大学時代、演劇部に籍を置き役者志願だった。自分はこの道に向いていないと思ったので、チーフディレクターになった。その日の公演では、土居原氏が手がけてきたドラマを中心に、テレビ番組を作る苦労や、東京と大阪のテレビ作りの違い、NHK朝のテレビ小説のヒロイン遊びをかたむけていた。

「リコーダー」協奏曲、ビバルディ 作曲、フルート、パロッド調、品集、デイヴィジョン・他、フルート四重奏曲、二長調

**独唱会**

午後六時半、中日の最終の催しである。三室先生がの独唱会が行なわれた。この会は三部構成になっており、第一部はイタリア古典歌曲、第二部は「まらばう」

**熱唱する三室先生**

約一時間半の公演だったが、コーラス部を始め、音楽好きの人達が集まって充分楽しんだ。

約一時間半の公演だったが、コーラス部を始め、音楽好きの人達が集まって充分楽しんだ。

## 本音も公開

「テレビ番組うらばなし」の講演が行われた。土居原氏は、大学時代、演劇部に籍を置き役者志願だった。自分はこの道に向いていないと思ったので、チーフディレクターになった。その日の公演では、土居原氏が手がけてきたドラマを中心に、テレビ番組を作る苦労や、東京と大阪のテレビ作りの違い、NHK朝のテレビ小説のヒロイン遊びをかたむけていた。

「リコーダー」協奏曲、ビバルディ 作曲、フルート、パロッド調、品集、デイヴィジョン・他、フルート四重奏曲、二長調

**独唱会**

午後六時半、中日の最終の催しである。三室先生がの独唱会が行なわれた。

約一時間半の公演だったが、コーラス部を始め、音楽好きの人達が集まって充分楽しんだ。



テレビ番組を作る時、このおみになっていました。

## 芦高40年の歩み

- 2・2 昭和三十五年 文部省より兵庫県立芦屋中学校設置の件認可せられる
- 3・30 山本松本市本校長を命ぜられる
- 4・1 兵庫県立芦屋中学校開校される
- 4・12 兵庫県武庫郡精道村岩園尋常高等小学校の一部を仮校舎とする
- 8・15 精道村々々で学校敷地決定する
- 昭和十七年 仮校舎を打出の芦屋市立第五国民学校新築校舎に移転する
- 11・3 第一回運動会西宮球場で開く
- 昭和十八年 阪部由松本校校長を命ぜられる
- 昭和二十年 阪神間の空襲襲で校舎全焼する
- 6・5 宮川国民学校を仮校舎決定する
- 8・5 宮川国民学校(本校寄寓)一部焼ける
- 10・6 武庫郡本山村本山第一・第二国民学校の一部に仮校舎を移し本部を本山第一国民学校におく
- 昭和二十一年 芦屋市精道町芦屋市実業専修学校に本部及び三・四学年の仮校舎を移し三校で分散授業を行う
- 5・24 本校校歌・校友会決定する
- 11・23 第一回文化祭を本山第一国民学校講堂で行なう
- 昭和二十二年 校内自治会結成式・校友会大会を行なう
- 4・19 芦屋市実業専修学校々々で三部授業を行なう
- 10・14 現校舎へ移転を完了する
- 昭和二十三年 校友会機関紙「芦笛」第一号を発行する
- 4・1 学制改革に伴い兵庫県立芦屋高等学校として発足し、校章を新たに制定する
- 4・20 新制高等学校の発足式を行なう
- 6・28 併設中学三年生の御影高校への転出者の送別式を行なう
- 9・6 創立武庫高等学級校移転し来る
- 10・30 31 高校発足を記念して第一回記念祭を行なう
- 昭和二十四年 全国高校選抜野球大会優勝戦まで進む
- 8・17 全国高校野球選手権大会準々優勝戦まで進む
- 10・10 創立十周年記念式を行なう



